

令和6年度ICRP調査・研究連絡委員会 「外部専門家との意見交換会」

参加費 無料	日時：令和7年1月21日（火）14時00分～16時15分
	形式：ZOOMウェビナーによるWEBセミナー
	テーマ：放射線診断の医療被ばくについて
	主催：公益財団法人放射線影響協会

医療放射線画像が進歩するなかで患者の診断に必要な画質を保ちながら線量を低減することが求められています。ICRPは2024年にPublication 154「Optimisation of Radiological Protection in Digital Radiology Techniques for Medical Imaging」を公表してエックス線撮影、透視、CTを中心に最適化の指針を示しました。本意見交換では我が国の放射線診療の現状を把握したうえで放射線防護のあり方について討論します。

プログラム

- 14:00～14:05 開会の辞** 放射線影響協会
- 14:05～15:15 講演 進行役** 細野 眞先生（ICRP第3専門委員会委員/近畿大学教授）
- 14:05～14:15 ICRP Pub.154の概要解説 細野 眞先生
（※以下の講演には、5分間の質疑応答時間を含む）
- 14:15～14:35 臨床における放射線診断の最適化の現状 松原 孝祐先生（金沢大学教授）
- 14:35～14:55 放射線診断検査から受ける患者の線量 赤羽 正章先生（国際医療福祉大学教授）
- 14:55～15:15 医療被ばくの適正管理のあり方
松本 晴樹先生（厚生労働省医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 室長）
出内 主基先生（厚生労働省医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 室長補佐）
- 15:15～15:25 休憩**
- 15:25～16:00 ICRP国内委員との意見交換**
モデレーター 甲斐 倫明先生（ICRP主委員会委員/日本文理大学教授）・細野 眞先生
討論のポイント ①医療被ばくへの取り組みの成果と課題
②患者・家族とのリスクコミュニケーション
③産学官の連携の進め方
パネラー：ご講演者に加え、吉田 浩子先生（ICRP第4専門委員会委員/東北大学
研究教授）をお迎えします。
- 16:00～16:10 質疑応答** モデレーター 甲斐 倫明先生・細野 眞先生
- 16:10～16:15 閉会の辞** 放射線影響協会

◆申込方法： セミナーへの事前登録

ZOOM URLへ移動し今すぐ登録

- ▶ セミナー登録URLからの事前登録、先着順となります。
- ▶ 登録に不備があった場合等、お申込みを受け付けられない場合がございます。

◆締め切り： 令和7年1月20日（月）14時

- ▶ 応募者多数により参加できない場合がございます。
 - ※ セミナー当日は、事前登録した氏名・メールアドレスでご参加ください。
 - ※ セミナーの録画・録音、SNSなどへの投稿はご遠慮ください。
 - ※ いただいた個人情報は今回のセミナーの手続き等、セミナーに関する事以外には使用致しません。